

# 取扱説明書

## 冷凍式エアドライヤ ゼロアクアGXシリーズ

### GX8100シリーズ

GX8155, GX8175



この製品は「産業用」です。取り扱いには十分注意してください。  
据付・操作の前には必ずこの取扱説明書をお読みいただき、正しく  
お使いください。

巻末が保証書となっています。大切に保存してください。



## 本製品を安全にご使用いただくために

本製品は使用するにあたって、電気、圧縮空気、液体、配管、冷凍などについての基礎的な知識をもった人を対象にしています。上記の知識をもたない人や十分な訓練を受けていない人が、据付、使用、修理などを行って引き起こした事故に関しては、当社は責任を負いません。

使用方法によっては、十分に性能を発揮できない場合や事故につながる場合があります。

製品の仕様を必ず確認されるとともに、決められた使用方法でご使用ください。

本製品には、さまざまな安全対策を施していますが、お客様の取扱いミスによって事故につながる場合があります。そのために、必ずこの取扱説明書を熟読し、内容を十分にご理解いただいたうえでご使用ください。

本文中に記載してある取扱注意事項とあわせて下記項目についてもご注意ください。

本取扱説明書は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

## 安全上のご注意

注意事項は、 **警告**  **注意** に区分して表示してあります。



### 警告

誤った取扱いをした場合に、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています



### 注意

誤った取扱いをした場合に、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています



### 警告 回転注意

ファンは突然回転し、ケガの恐れがあります。  
手や物を入れないでください。

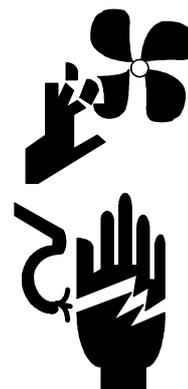
点検は、必ず電源を遮断して行ってください。



### 警告 感電注意

電源端子台、スイッチ類等の電気部品は感電の恐れがあります。

点検は、必ず電源を遮断して行ってください。また、濡れた手での作業は危険です。



### 注意 高温注意

運転中、停止後しばらくの間は高温になります。

点検は、必ず電源を遮断し、冷えてから行って下さい。



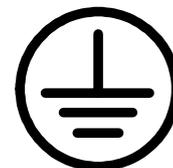
### 注意 足場注意

パネルに乗ると、落下の恐れがあります。  
絶対にパネルには乗らないでください。



### 注意 アース接続

感電事故防止のため、必ずアースを接続してください。



この製品は、『産業用』です。取扱いには十分注意してください。



## フロン回収破壊法遵守

本機に冷媒として使用されているフロンガスは、フロン類の放出禁止と回収・破壊を義務づける法律「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保に関する法律」（フロン回収破壊法、2002年4月1日施行）に該当します。製品の廃棄あるいは修理時等においては、下記回収破壊システムにおける其々の義務を遵守してください。

### 回収破壊システムにおける其々の義務

**特定製品の廃棄者**：フロン類回収業者にフロン類を引渡す義務（第19条）

処理費用（回収・運搬・破壊）の負担（第56条）

フロン回収を書面（行程管理票）による管理（行程管理票の交付・

回収・保存など）義務（第19条、第20条）

特定製品整備者の引渡義務（第18条）

特定解体工事請負者の確認及び説明義務（第19条）

**フロン類回収業者**：都道府県知事の登録義務（第9条）

フロン類破壊業者にフロン類を引渡す義務（第21条）

フロン類の回収及び運搬に関する基準の遵守義務（第20条）

回収量等について記録し、知事へ報告する義務（第22条）

**フロン類破壊業者**：主務大臣の許可義務（第44条）

フロン類回収業者からの引取り義務（第52条）

破壊量の記録と主務大臣への報告義務（第53条）

**特定製品製造業者**：表示義務（第66条）

特定製品の製造等を業として行う者は、当該特定製品を販売する時までに、当該特定製品に冷媒として充填されているフロン類に関し、当該特定製品に、見やすく、かつ、容易に消滅しない方法で、次に掲げる事項を表示しなければならない。

1. 当該フロン類をみだりに大気中に放出してはならないこと。
2. 当該特定製品を廃棄する場合には、当該フロン類の回収が必要であること。
3. 当該フロン類の種類及び数量。

と定められており、当社ではこの条項に従い製品に次の表示をしております。

HFC（R-407C）の場合（文字：黒色）

フロン回収・破壊法 第一種特定製品
この製品には冷媒としてフロン類（HFC）が使われています。 (1) フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。 (2) この製品を廃棄する場合には、フロン類の回収が必要です。 (3) フロン類の冷媒番号及び数量は、製品銘板に記載されています。
<b>HFC</b>

HCF C（R-22）の場合（文字：青色）は、上記HFCがHCF Cとなります。

なお、2002年4月1日以前にお買い上げいただいた製品に対しては、上記銘板が貼付いていないものがありますが、本法律を遵守してください。また、製品の廃棄あるいは修理時等で不明な点がありましたら、販売店あるいは当社最寄の営業所へお問合せください。

## 目 次

本製品を安全にご使用いただくために	1
フロン回収破壊法遵守	2
1. はじめに	4
2. 耐圧証明書について	4
3. 注意事項	5
3.1 運搬	5
3.2 使用環境	5
3.3 使用上の注意	6
4. 据付	7
4.1 最初にお確かめください	7
4.2 各部の名称	8
4.3 操作部	8
4.4 電装部	9
4.5 据付場所	10
4.6 本体の固定	10
4.7 空気配管	11
4.8 ドレン配管	12
4.9 電気配線	13
5. 機能説明	14
5.1 機能説明	14
5.2 系統図	14
6. 運転準備と運転	15
6.1 運転準備	15
6.2 運転および停止方法	15
6.3 安全装置が作動して停止した時	16
6.3.1 安全装置	16
6.3.2 リセットのしかた	16
7. 保守・点検	17
7.1 保守・点検項目	17
7.2 消耗部品及び定期保守部品	18
7.3 保管（長期間使用しない場合）	19
8. アフタ - サ - ビス	19
9. 異常の原因と処置	20
10. 仕様	22
11. 外形寸法	23
12. 電気回路図	24
13. 保証	26

## 1 . はじめに

このたびは、C K D製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。

この取扱説明書は、冷凍式エアドライヤ「ゼロアクアGXシリーズ」の性能を十分に発揮させるために、据付・操作等の基本的な事項を記載したものです。ご使用される前に、この取扱説明書を、よく読んでいただき、正しくお使いください。

また、この取扱説明書の巻末が保証書となっておりますので、巻末のご購入表に「形式」「SERIAL No.」「ご購入年月日」「ご使用開始年月日」「販売店名・TEL・担当」をご記入いただき、紛失されませんように大切に保管してください。

## 2 . 耐圧証明書について

### 1. 耐圧証明書の保管

G X 8 1 7 5 に搭載されております圧力容器(熱交換器)は、労働省令による「ボイラおよび圧力容器安全規則」による「第2種圧力容器」の適用を受けます。本製品出荷の際、第2種圧力容器耐圧証明書(本証:各1通)が添付されておりますので、本製品使用中は貴社にて大切に保管してください。(労働基準監督署への届出義務は、1990年10月1日よりなくなりました。)

### 2. 第2種圧力容器明細書取扱い注意事項

- 1) 第2種圧力容器は、労働大臣が定める第2種圧力容器構造規格の要件を具備しなければ譲渡、貸与、設置ができませんが、この第2種圧力容器明細書は、この圧力容器が上記の構造規格の要件を具備していることを証明する重要な書類です。
- 2) この第2種圧力容器明細書は、破いたり、汚したり、なくしたりしないように大切に保管してください。
- 3) この第2種圧力容器明細書の再発行は個別検査実施後1年以内のものでなければできません。それ以外のものは、新たに個別検定を受けなければなりません。
- 4) 第2種圧力容器を設置した場合は、必ず次のことを守ってください。毎年1回以上次の事項について定期自主検査を行ってその結果を記録し、3年間保存しておくこと。

本体の損傷の有無

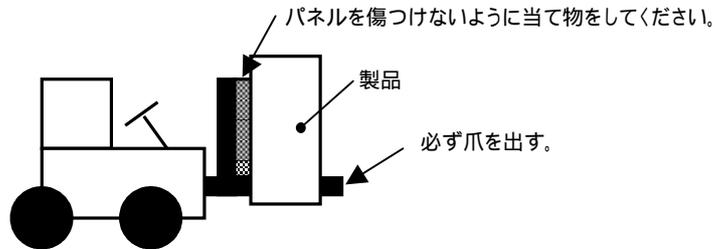
ふたの締付ボルトの摩耗の有無

管および弁の損傷の有無

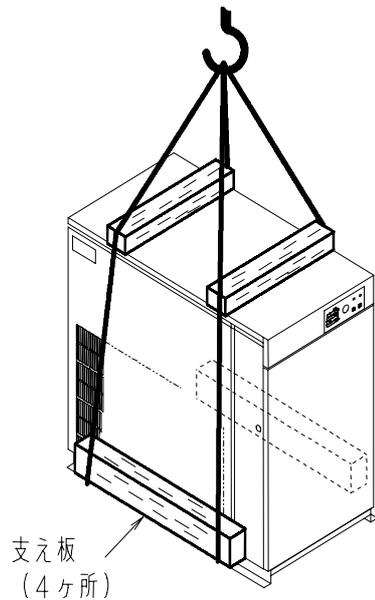
## 3 . 注意事項

### 3.1 運搬

- 1) 運搬中の横倒、振動・衝撃は厳禁です。  
内部部品の破損などの原因となります。
- 2) 本機の上に乗ったり、上に物を載せないでください。  
パネルの変形、破損、内部部品の破損さらには人体に損傷を与える危険があります。
- 3) フォークリフトで運搬



- 4) クレーンで運搬



支え板  
ドライヤの幅よりも100mm程度長くしてください。  
支え板とドライヤの間にはパネルの損傷を防ぐため、当て物をしてください。

### 3.2 使用環境

- 1) 屋外には設置しないこと。  
本製品は、耐水構造になっていません。電気系統に雨水がかかると漏電や火災事故を起こす恐れがあります。
- 2) 使用周囲温度が、2~43 (結露のないこと)の場所で使用のこと。  
2 以下では、ドレンが凍結し、故障の原因となります。43 以上では、製品の異常停止や寿命低下の原因になります。
- 3) 直射日光・粉塵・発熱体の近く、および腐食性ガス・爆発性ガス・引火性ガス・可燃物のない場所に設置すること。  
故障、あるいは爆発、発火の原因となります。

## 3.3 使用上の注意

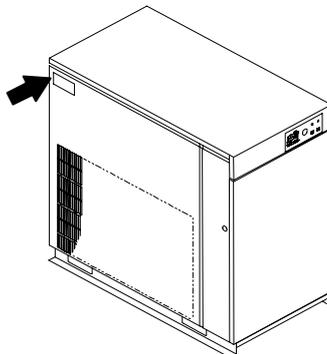
- 1) 圧縮空気以外の気体の除湿には絶対使用しないこと。  
爆発・火災・破損などの原因となります。
- 2) 元電源には、必ず漏電遮断器を設置してください。  
感電事故を起こす恐れがあります。
- 3) ア - ス工事を必ず行うこと。  
感電や火災の原因となります。
- 4) 仕様範囲内で使用してください。  
製品の異常停止や寿命低下の原因になります。
- 5) 頻繁な起動/停止はしないこと。  
起動/停止の頻度は、6回/時以下とし、起動後5分間は停止させないでください。また、  
停止時間は3分以上としてください。  
故障や寿命低下の原因になります。
- 6) 本機の外パネルを取り外して、元電源を入れしないでください。  
感電、火傷、あるいは回転部でケガをする危険があります。
- 7) 圧縮空気とともに、水滴(ドレン)がドライヤへ流入する場合には、ドライヤの前で水滴  
を除去してください。  
ドライヤの2次側に、水滴(ドレン)が持ち出されることがあります。
- 8) 本機の改造はしないこと。  
思わぬ事故や寿命低下の原因となります。
- 9) 潜函シールド・呼吸用等の医療機器には使用しないこと。  
人身事故などの原因となります。
- 10) 車両・船舶などの輸送機器への搭載使用はしないこと。  
振動等が原因で内部機器破損の原因となります。

## 4 . 据付

### 4.1 最初にお確かめください

1) 形式・電圧・周波数が、ご注文どおりか、現品を確認してください。

REFRIGERATED AIR DRYER						
①						
POWER	②	MAX. PRESS.		⑤	MPa	
MAX. AIR TEMP.	80℃	AIR FLOW	⑥	m <sup>3</sup> /min	ANR	
CURRENT	③	MASS		⑦	kg	
REFRIGERANT	④	SERIAL				
CKD		CKD Corporation MADE IN THAILAND				



POWER…使用電圧  
 MAX.PRESS…最高入気圧力  
 MAX.AIR TEMP…最高入気温度  
 AIR FLOW…流量  
 CURRENT…定格運転電流  
 MASS…質量  
 REFRIGERANT…使用冷媒の種類と封入量  
 SERIAL No…機番

Model	Power	Freq.	Max. Press.	Refrigerant	Max. Air Temp.	Air Flow	Mass
GX8155-AC200V	3	AC200V50/60Hz	10.3/11.4	R-407C, *1	1.0	9.6/10.6	190
GX8175-AC200V	3	AC200V50/60Hz	13.1/14.6	R-407C, *1	1.0	10.5/12.3	230

\*1 冷媒封入量が記載されます。

**▲【注記】** 万一、記載内容について、不審な点がございましたら本機を使用せず、ただちにご購入先・販売店へご連絡ください。

2) 輸送中に变形や破損した箇所がないか確認してください。

3) 付属品一覧

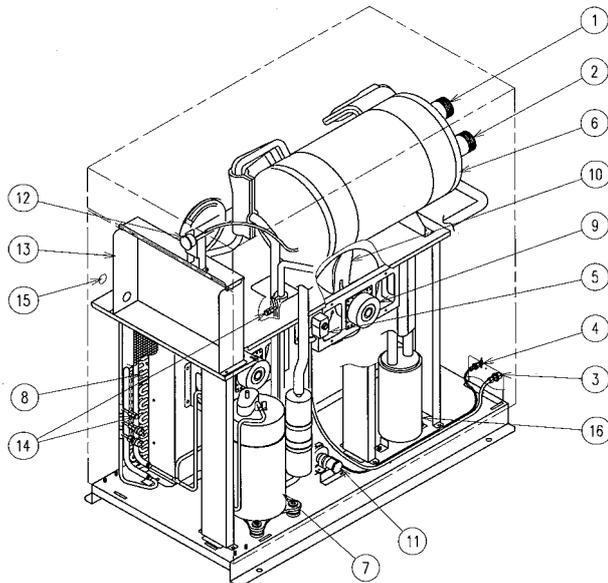
付属品が全てあるか、確認してください。

	GX8155	GX8175
取扱説明書		
第二種圧力容器耐圧証明書 *2	-	

\*2 第二種圧力容器耐圧証明書は別送される場合があります。

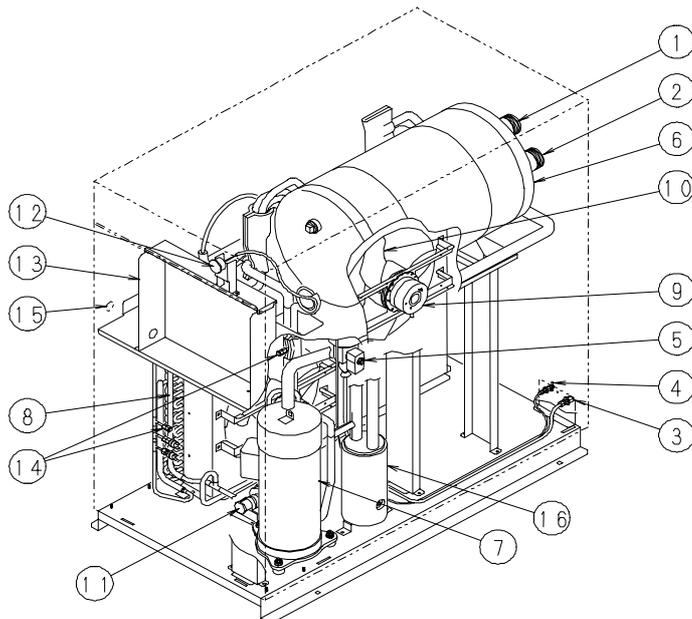
## 4.2 各部の名称

### 1) GX8155



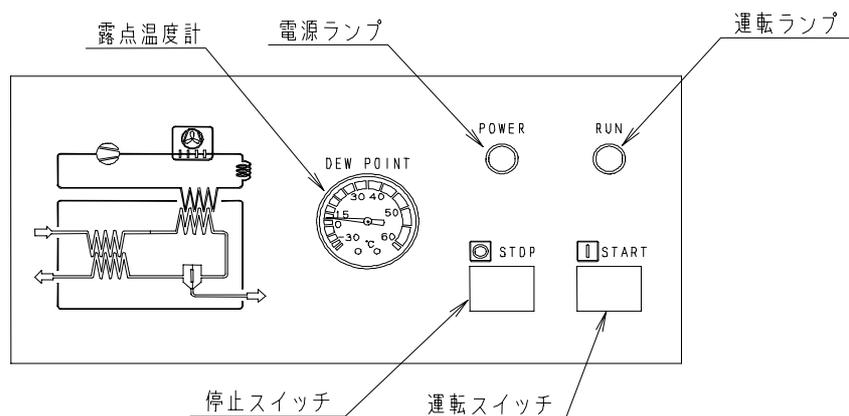
品番	部品名	数量
1	空気入口	1
2	空気出口	1
3	ドレン排出口	1
4	ドレン手動排出口	1
5	電磁弁	1
6	熱交換器	1
7	圧縮機	1
8	凝縮器	1
9	ファンモータ	2
10	ファンブレード(羽根)	2
11	容量調整弁	1
12	露点温度計	1
13	電気ボックス	1
14	サービスバルブ	2
15	電源穴	1
16	アキュムレータ	1

### 2) GX8175



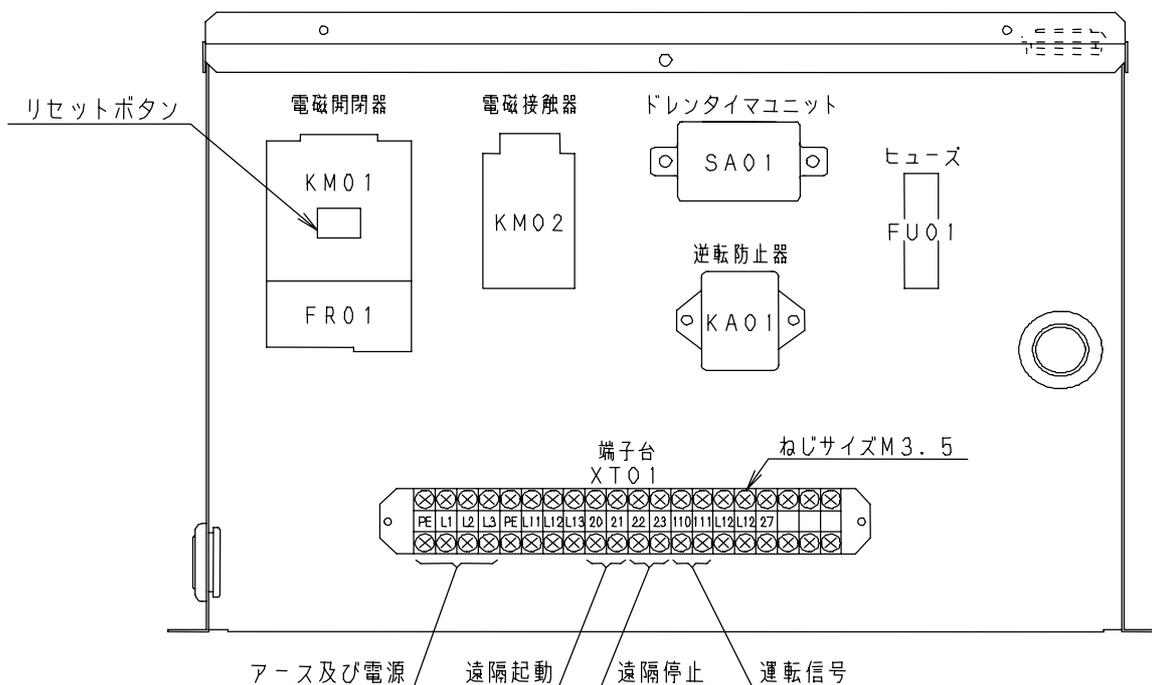
品番	部品名	数量
1	空気入口	1
2	空気出口	1
3	ドレン排出口	1
4	ドレン手動排出口	1
5	電磁弁	1
6	熱交換器	1
7	圧縮機	1
8	凝縮器	1
9	ファンモータ	2
10	ファンブレード(羽根)	2
11	容量調整弁	1
12	露点温度計	1
13	電気ボックス	1
14	サービスバルブ	2
15	電源穴	1
16	アキュムレーター	1

## 4.3 操作部

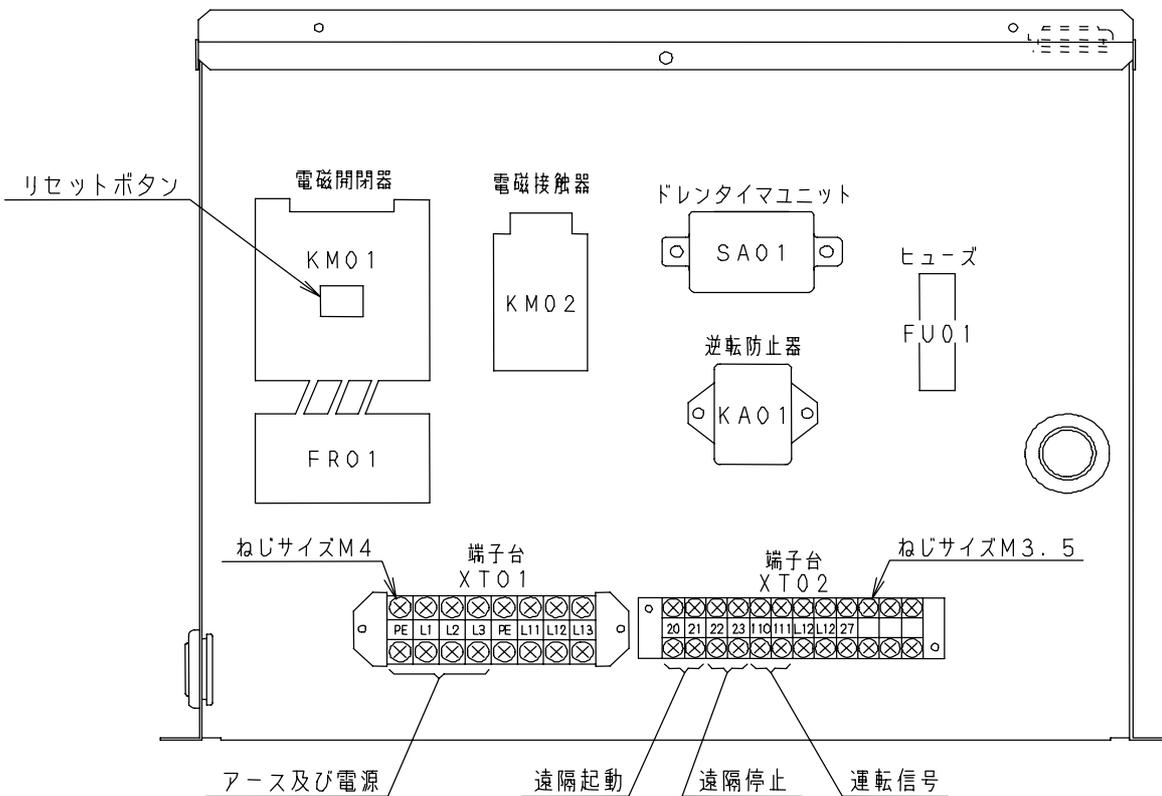


## 4.4 電装部

### 1) GX8155

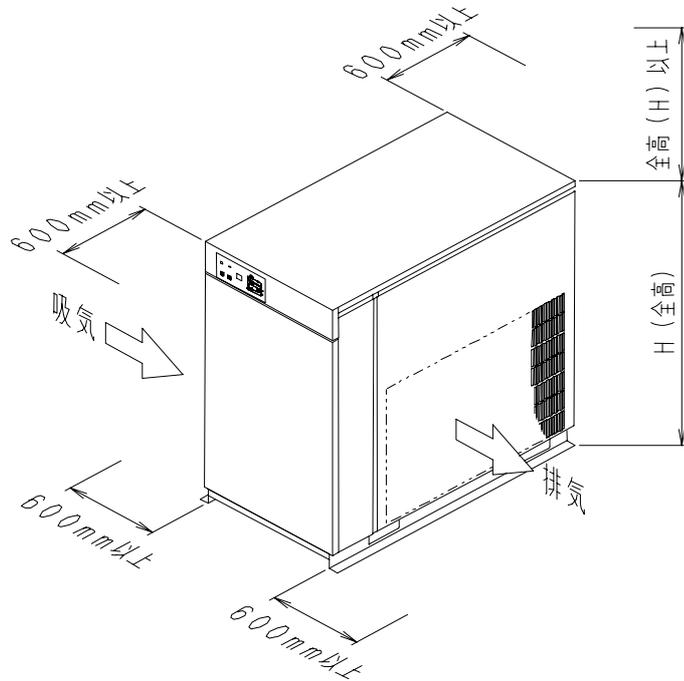


### 2) GX8175



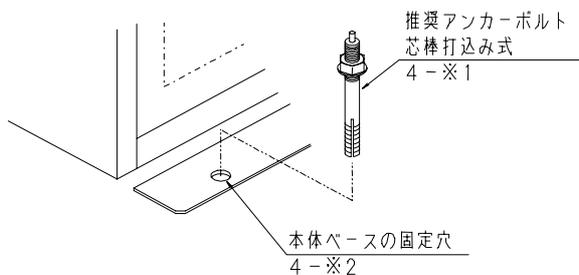
## 4.5 据付場所

- ⚠ 1) 室内で湿気の少ない場所に据付けてください。  
雨水がかかったり、湿気の多い場所(湿度 85%以上)では、漏電や火災事故を起こす危険があります。
- ⚠ 2) 使用周囲温度が、2~43 (結露のないこと)の場所で使用のこと。  
2 以下では、ドレンが凍結し、故障の原因となります。43 以上では、製品の異常停止や寿命低下の原因になります。熱がこもる場合は換気してください。
- ⚠ 3) 直接日光・粉塵・発熱体の近くおよび腐食性ガス・爆発性ガス・引火性ガス・可燃物のない場所に設置すること。  
故障あるいは爆発・発火の原因となります。
- ⚠ 4) 据付床面は、頑丈なコンクリートの基礎であり、水平かつ平面であること。  
・地盤の軟弱な所では、基礎工事を行なってください。  
床が弱く、傾いていると騒音・振動の原因となります。(床水平±5°以内)
- ⚠ 5) 保守点検のために、十分なスペースを確保してください。  
排熱が廻り込んで吸気しないようにしてください。  
異常停止することがあります。



## 4.6 本体の固定

地震や突然の衝撃等により本体が転倒しないようアンカ - ボルトで固定してください。

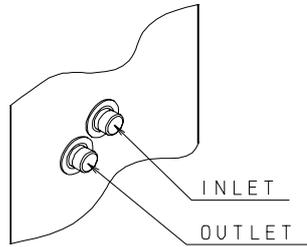


	1	2
G X 8 1 5 5	M12 × ℓ70	16
G X 8 1 7 5		

## 4.7 空気配管

1) 空気入口・出口を確認して配管してください。

リヤ側



配管口径

G X 8 1 5 5	R2
G X 8 1 7 5	R2

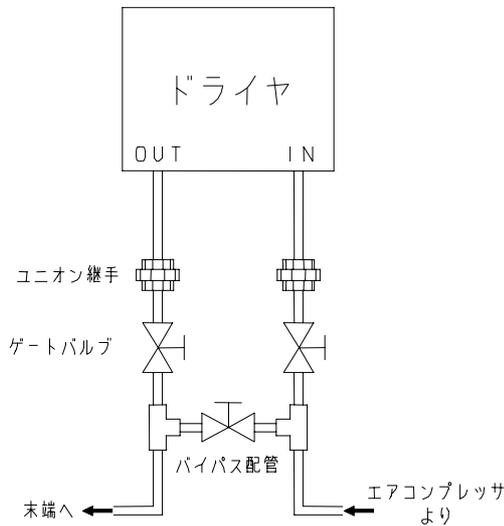
2) メンテナンスが出来るよう、バイパス配管の配置をお勧めします。

継続運転の場合

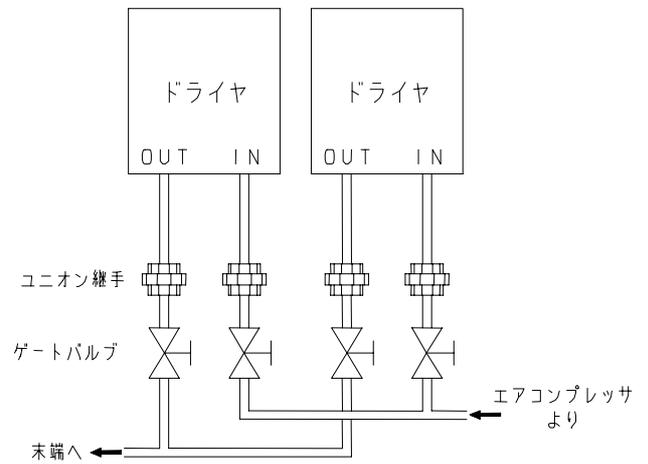
万ーに備え、バイパス配管の設置をお勧めします。

24 時間運転の場合

万ーに備え、並列設置をお勧めします。  
1 台は常時使用、もう一台は予備機。



注 バイパス配管は常時閉です。  
開いたままエアを流すと末端に水が出ます。

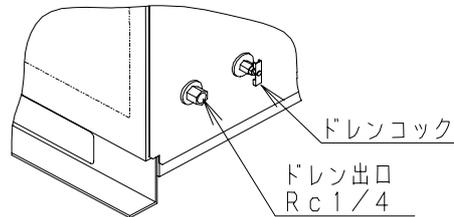


- 3) 配管重量が本体に加わることはないように配管設計を行なってください。
- 4) エアコンプレッサの振動が伝わらないようにしてください。
- 5) 配管は使用圧力・温度に十分耐えられるものとし、接続部はエア漏れがないようにしてください。
- 6) 配管材には、亜鉛メッキ鋼管あるいはステンレス配管を使用してください。
- 7) ゴミ等が空気回路内に入らないように、配管接続前に必ずフラッシングを行ってください。

## 4.8 ドレン配管

1) ドレン出口を確認して配管をしてください。

リヤ側

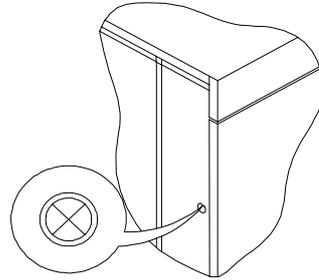


- 2) ドレン配管は、内径 7 以上、長さが 2m 以内で接続し排出端は大気開放してください。
- 3) ドレン配管は、立ち上がりがあったり、配管が長すぎると背圧がかかり、ドレンが排出されないことがあります。ドレンが自然に流れるように下り配管を施してください。
- 4) ドレンは、エアの圧力を利用し、定期的に強制排出されます。ドレン排出時に、ドレン排出チューブ等が振れることのないよう、しっかり固定してください。
- 5) ドレンに油が混入する場合は、排水処理が必要です。処理については、お近くの産業廃棄物処理業者にご相談ください。
- 6) ドレンコックはメンテナンス時にお使いください。

## 4.9 電気配線

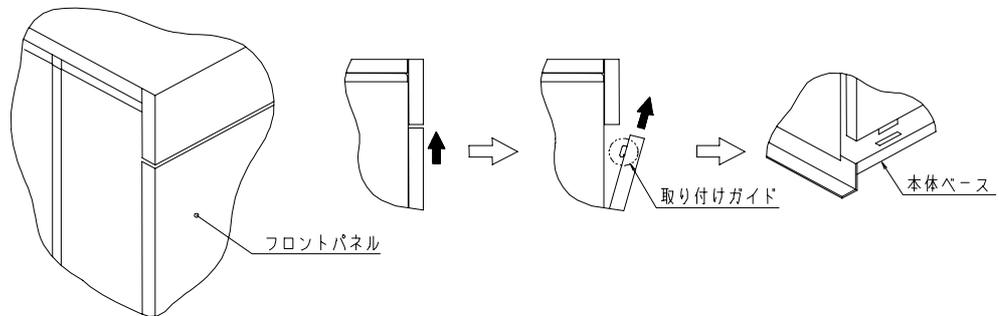
- 1) 適正な電源電圧でご使用ください。
  - 定格電圧の±10%以内でご使用ください。
- 2) 元電源に、過負荷保護兼用漏電遮断器(感度電流 30mA 以下)を取り付けてください。
- 3) 電源コードの接続

- 本体左側面前のゴムブッシングに電線を通す穴(切り込み)を開けてください。
- フロントパネルを取り外してください。

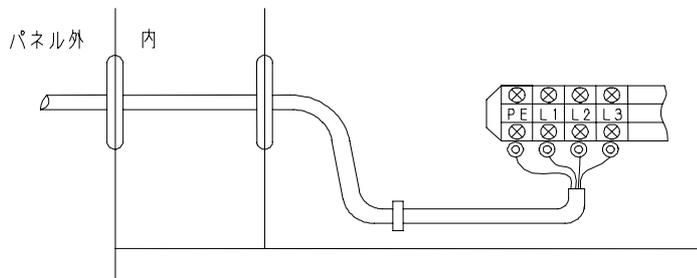


### 手順

フロントパネルを上を持ち上げる。  
 取り付けガイドを左右側面パネルより外す。  
 フロントパネルを上を持ち上げ、ベースの差し込み部より抜く。



- 電源を用意して本体内部の端子台 L1, L2, L3 と漏電遮断器につないでください。



### 4) アース線の接続

- 電源コードの接続と同様に、アース線を本体内部端子台 PE と配電盤内のアース端子につないでください。

(設地工事は電気工事業者による D 種接地工事が必要です。)

**⚠【注意】** 水道管やガス管・避雷針には絶対に接続しないでください。

### 5) 配線容量(電源線およびアース線)

	推奨遮断器容量 (A)	電線の太さ (mm <sup>2</sup> )			
		長さ 10m	長さ 20m	長さ 30m	長さ 50m
G X 8 1 5 5	20	3.5	8.0	14.0	22.0
G X 8 1 7 5	30	8.0	14.0	22.0	30.0

上表、電源線は 600V ビニルキャブタイヤケーブル(VCT)を、アース線は 600V ビニル絶縁電線(IV)での太さを示しています。

## 5 . 機能説明

### 5.1 機能説明

#### 1 ) 空気回路

暖かく湿った圧縮空気はプリクーラで予冷されます。その後、蒸発器に入り冷たいフロンガスと熱交換して露点まで冷却されます。  
冷却されて除湿された圧縮空気は、リヒータで再熱され、暖かい乾燥した空気となります。

#### 2 ) 冷凍回路

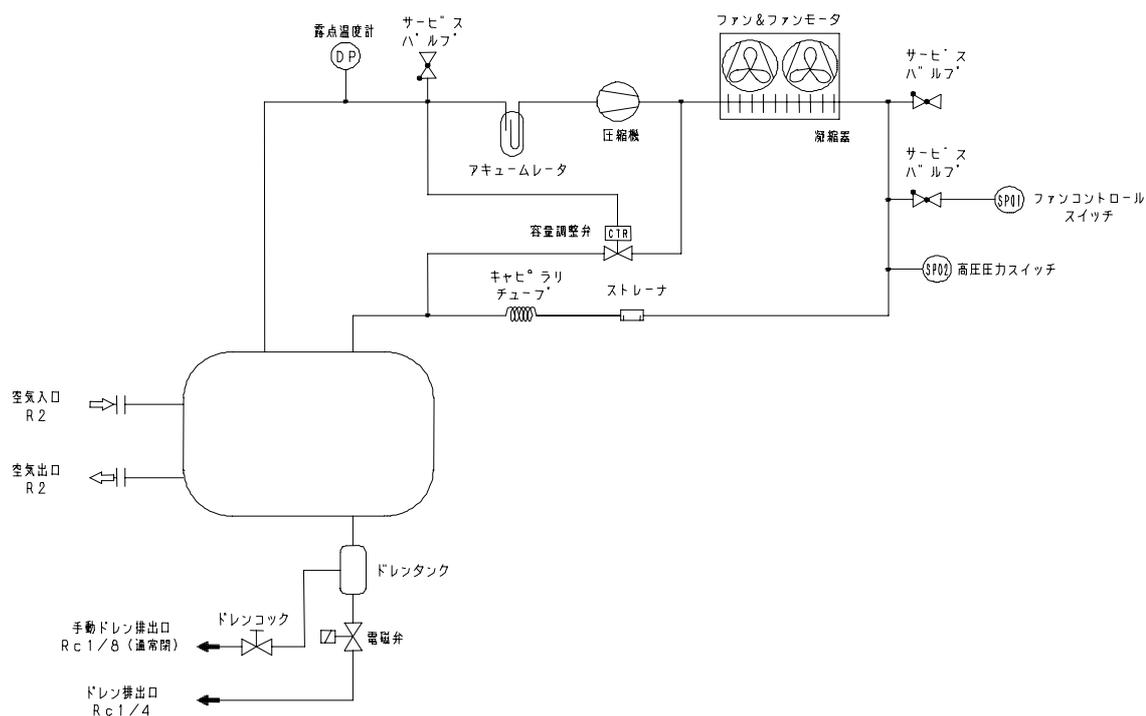
圧縮機(冷凍圧縮機)により高温高圧となったフロンガスは、凝縮器で冷却されて凝縮して、高圧の冷媒液となります。その後、キャピラリチューブにおいて減圧することにより、低温低圧の液となります。  
冷媒液は蒸発器で、暖かい湿った圧縮空気と熱交換することにより、蒸発してその気化熱により圧縮空気を冷却します。ガス化した冷媒は再び圧縮機へ戻ります。

#### 3 ) ドレン回路

圧縮空気中の水蒸気は、蒸発器で冷却されて凝縮し、ドレン(水分)となります。ドレンはドレンタンクに溜ります。  
ドレンタンクに溜まったドレンは、電磁弁が作動することにより定期的に排出されます。また、手動でも排出が出来るようドレンコックが取り付けられていますので、メンテナンスあるいは万一の場合に使用してください。

### 5.2 系統図

#### 1 ) GX 8 1 5 5 , GX 8 1 7 5



## 6 . 運転準備と運転

### 6.1 運転準備

- 1) 空気配管・ドレン配管および電気配線が正しく接続されているか、もう1度お確かめください。
- 2) ドライヤ前後のゲートバルブおよびバイパス配管のゲートバルブが全閉であることをお確かめください。なお、配管内の空気圧力は、ゼロであることもお確かめください。
- 3) ゼロアクアGXシリーズでは遠隔操作で運転・停止することが出来ます。遠隔操作でご使用される時は下記を参照してください。
  - < 遠隔運転 >
    - 端子番号 20-21 間にモーメンタリスイッチ (NO) を接続してください。
  - < 遠隔停止 >
    - 端子番号 22-23 間のジャンパー線を取り外してください。
    - 22-23 間にモーメンタリスイッチ (NC) を接続してください。

### 6.2 運転および停止方法

- 1) 元電源を投入してください。
- 2) 本体操作パネルの「POWER」ランプが点灯します。
- 3) 手元操作時は、本体操作パネルの「START」ボタン(“|”マ-ク)を押してください。遠隔操作時は 20-21 間に接続したモーメンタリスイッチ(NO)を押してください。「RUN」ランプが点灯し、運転が開始されます。しばらくすると「DEW POINT」計がグリーン帯に入り、空気圧力露点を示します。

【注意】運転中、ファンが「運転」「停止」を繰り返すことがありますが、故障ではありません。

- 4) ドライヤ入口側のゲートバルブを徐々に開けてください。
- 5) ドライヤ出口側のゲートバルブを徐々に開けてください。
- 6) ドライヤで取ったドレンは、定期的に電磁弁の「ON」時間だけ、空気圧力を利用して強制排出されます。

【注意】ドレンコックが取り付けられているドレン出口は、万一の非常用です。通常は、「常時閉」でお使いください。

- 7) 手元操作時は、本体操作パネルの「STOP」ボタン(“○”マ-ク)を押してください。遠隔操作時は 22-23 間に接続したモーメンタリスイッチ(NC)を押してください。「RUN」ランプが消灯し運転を停止します。

【注意】

頻繁な起動/停止はしないこと。

起動/停止の頻度は、6 回/時以下とし、起動後 5 分間は停止させないでください。また、停止時間は 3 分間以上としてください。

故障や寿命低下の原因になります。

三相機種は電源相順が違つと「START」ボタンを押しても起動しません。三相のうちどれか 2 本 (L1 と L3) を入れ替えてください。

相順が違つ状態で運転(電磁接触器を指で強制的に運転される)させないでください。圧縮機が故障します。

本機を停止させる前には、エアコンプレッサを停止させ残圧を抜いてください。

本機の 2 次側に除湿されていない空気が流れていく恐れがあります。

端子番号 D110-D111 間で運転信号を取ることが出来ます。

接点容量 AC220V , 3A

## 6.3 安全装置が作動して停止したとき

### 6.3.1 安全装置(P23 電気回路図を参照してください)

- 1) 圧縮機が高温になったり、過電流が流れると安全装置が作動してドライヤが停止します。また、冷媒高圧圧力が上昇すると高圧圧カスイッチが働き、ドライヤが停止します。
- 2) 本機には制御回路ヒューズが取り付いています。
- 3) 設定値一覧

記号	型番	部品名	適用	設定値	復帰方法
FR01	GX8155		圧縮機電流	14A	手動リセット
	GX8175			22A	
ST01	GX8155	サーマルスイッチ	圧縮機上部温度	85 ON 115 OFF	自動復帰
	GX8175	サーモスイッチ	冷凍回路	105 ON 115 OFF	
SP02	共通	高圧圧カスイッチ	冷凍回路	2.75MpaOFF 2.26MPa ON	自動復帰
FU01	共通	ヒューズ	電気回路ハーネス	5A	交換

### 6.3.2 リセットのしかた

- 1) 元電源を「OFF」にしてください。これでリセットの状態になります。
- 2) 異常停止の原因を取り除いてください。  
(9.「異常の見分けかたと処置」を参照してください。)
- 3) 安全装置をリセットしてください。(6.3.1 参照)
- 4) 元電源を「ON」にしてください。

#### 【注意】

- 異常原因を取り除く場合には、必ず元電源を「OFF」にしてから実施してください。
- 熱動タイプの安全装置を搭載している製品は、異常原因を取り除いても再起動出来ないことがあります。この場合は、元電源を「OFF」にし、圧縮機が冷えるまでお待ちください。(通常 10～15 分間程度)

## 7. 保守・点検

### 7.1 保守・点検項目

本機の性能を十分に発揮させ、故障を未然に防ぎ、長期間ご使用いただくために次の点検を行なってください。

項目	内容	周期		
		毎日	毎週	毎月
「POWER」ランプ	「POWER」ランプの点灯確認			
「RUN」ランプ	「RUN」ランプの点灯確認			
ダストフィルタ	ゴミ・ほこりの付着が無いこと			(掃除)
ドレン排出	定期的にドレンが排出していること			
露点温度計表示	運転前	周囲温度を表示		
	運転中	0～30		
圧縮機	異常音の無いこと			
ファンモータ	異常音の無いこと			
エア漏れ	エア漏れの無いこと			

#### 【注意】

ダストフィルタの清掃を怠りますと、圧縮機・ファンモータ等の故障の原因となります。

## 7.2 消耗部品及び定期保守部品

(注：数/台 は本装置 1 台あたりの使用数量です。)

消耗部品（定期的に消耗状態を点検して交換する部品）

下記部品を定期的に点検頂き、交換判断基準に基づいて交換してください。

部品名	数/台	点検頻度	交換判断基準
ダストフィルタ	1	毎週	破損した時・汚れが落ちない時
ファンコントロールスイッチ	1	-	8,000 時間(2 年)
ヒューズ	1	都度	切れた時

記載されている運転時間(年数)は、使用条件(周囲温度・設置環境等)により異なるため、保証値ではありませんのでご注意ください。年数は稼働率 12 時間/日(日本電機工業会(JEMA)) × 300 日とした場合の目安です。

ファンコントロールスイッチ、ヒューズは予備品として保管されることをお奨めします。

定期保守部品（使用状況により交換が必要となる主要部品）

下記部品を定期的に点検頂き、標準交換時期に基づいて交換してください。

部品名	数/台	交換方法	標準交換時期
圧縮機	1	×	20,000 時間(6 年)
ファン・ファンモータ	2		20,000 時間(6 年)
電磁開閉器(圧縮機用)	1		20,000 時間(6 年)
電磁接触器(ファンモータ用)	1		20,000 時間(6 年)
電磁開閉器(圧力扇用)	1		20,000 時間(6 年)
ドレン排出器	1		20,000 時間(6 年)

記載されている運転時間(年数)は、使用条件(周囲温度・設置環境等)により異なるため、保証値ではありませんのでご注意ください。年数は稼働率 12 時間/日(日本電機工業会(JEMA)) × 300 日とした場合の目安です。また、この交換時期は、この時間以上でご使用になった場合での故障率が増してくる時間を示していますので、必ずしも交換する必要はありませんが、点検時に異常が有る場合や予防保全を行われる場合は交換願います。

・交換方法について

：部品の交換は、配管・電気等の知識・経験を有する人が行ってください。  
(これらの知識・経験が無い場合は、弊社もしくは専門業者にお問い合わせください。)

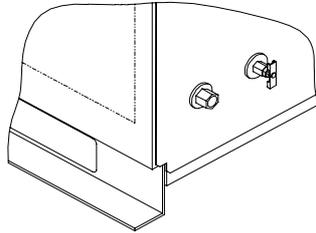
×：部品交換の前に、冷媒回収が必要です。また、交換作業には専門知識を必要としますので、弊社もしくは専門業者にお問い合わせください。

## 7.3 保管(長期間使用しない場合)

本機を長期間使用しない場合は、下記方法で大切に保管してください。

元電源(ブレーカ)を切ってください。

ドレン水を抜いてください



通常、常時閉じているドレンコックを開いてドレンを安全に排出させ、再びドレンコックを閉じてください。

保管場所を決め、シート等をかけてください。保管環境は使用環境と同一です。再び運転を開始される場合には、ドライヤの各部を点検し、この取扱説明書に基づいて運転してください。

## 8 . アフターサービス

- 1) 修理の依頼は、お買上げの販売店または、お近くのシ - ケ - デイ各支店・営業所(取扱説明書の裏表紙を参照ください)にご相談ください。
- 2) 修理を依頼される場合は、つぎのことをお知らせください。
  - ・ ドライヤ形番(MODEL NO.)
  - ・ 機番(SERIAL NO.)
  - ・ 据付年月日
  - ・ 販売店名(お買求め先)
  - ・ 異常または修理の状況
- 3) 保証期間経過後の修理についても、責任をもって実施いたします。なお、有償修理となります。また、サ - ビスパ - ツの供給保証期間は、生産中止後、7年間とします。

## 9 . 異常の原因と処置

異常状況	原因	処置	
「POWER」ランプが点灯しない	元電源が入っていない	元電源を入れる	
	電源電圧異常	規定の電圧にする	
	ハーネスの接触不良	ハーネスの修理	
	「POWER」ランプ切れ	「POWER」ランプ交換	
「START」スイッチを押しても起動しない (手元操作時)	「RUN」ランプも点灯しない	「START」スイッチ不良	「START」スイッチ交換
		安全装置が作動している	安全装置を解除する
		安全装置不良	安全装置交換
		電源電圧異常	規定の電圧にする
	遠隔停止端子が開放	遠隔停止端子を短絡する	
	「RUN」ランプは点灯する	電磁接触器不良	電磁接触器交換
「START」スイッチを押しても起動しない (遠隔操作時)	「RUN」ランプも点灯しない	「遠隔起動」スイッチ不良	「遠隔起動」スイッチ交換
		安全装置が作動している	安全装置を解除する
		安全装置不良	安全装置交換
		電源電圧異常	規定の電圧にする
	遠隔停止端子が開放	遠隔停止端子に NC スイッチを接続する	
	「RUN」ランプは点灯する	電磁接触器不良	電磁接触器交換
運転はするが	「露点温度計」の指示は、グリーン帯にあるが2次側から水が出る	ドレン排出用電磁弁不良	ドレン排出用電磁弁交換
		空気入口より多量の水滴混入	ドライヤ入口にドレン排出器を設置して、水滴を除去する
		ドライヤ以降の配管が、露点温度以下に冷えている	ドライヤ以降の配管を断熱材等にて保温する
		ドライヤ前後のバイパス回路が開いている	バイパス回路を閉じる
		処理流量が多い	定格流量の 1.3 倍以下とする
		ドレン配管が長すぎる。あるいは、細すぎる。	ドレン配管は、内径 7mm 以上として長さは、2m 以下とする。また、排出端は大気開放する。
	「露点温度計」の指示が、グリーン帯に無く2次側から水が出る	負荷オーバー ・ 周囲温度が高い ・ 入気温度が高い ・ 入気圧力が低い ・ 処理流量が多い	負荷を規定値まで下げる ・ 周囲温度を下げる ・ 入気温度を下げる ・ 入気圧力を上げる ・ 処理流量を減らす
		ダストフィルタが目詰まりしている	ダストフィルタを掃除する。汚れが酷い時は、新品と交換する。
		ファンモータ不良	ファンモータ交換
		風通しが悪い (コンデンサ給排気部が塞がれている)	風通しを良くする (コンデンサ給排気部に置いてある物を移動させる)

# 販売終了

異常状況		原因	処置
ドライヤ前後の圧力差が大きい		ドライヤ前後のストップバルブが閉じている	ドライヤ前後のストップバルブを全開にする
		処理流量が多い	定格流量の 1.3 倍以下とする
		ドライヤ内部で凍結した ・ 周囲温度が低い ・ 入気温度が低い ・ 冷却風がドライヤに直接当たる	凍結しないように ・ 周囲温度を上げる ・ 入気温度を上げる ・ 冷却風が直接当たらないよう衝立等を ・ 設置する
運転中に停止	ランプが全て 消灯した	元電源が落ちた	元電源を入れる
		電源電圧異常	規定の電圧にする
	「POWER」ランプ のみ点灯	安全装置が作動 ・ 周囲温度が高い ・ 入気温度が高い ・ 入気圧力が低い ・ 処理流量が多い ・ ダストフィルタが目詰まり ・ ファンモータ不良	異常原因を取り除きリセット ・ 周囲温度を下げる ・ 入気温度を下げる ・ 入気圧力を上げる ・ 処理流量を減らす ・ ダストフィルタを清掃する ・ ファンモータ交換
		手元運転中に遠隔停止を押した	手元再起動する
		遠隔運転中に手元停止を押した	遠隔再起動する

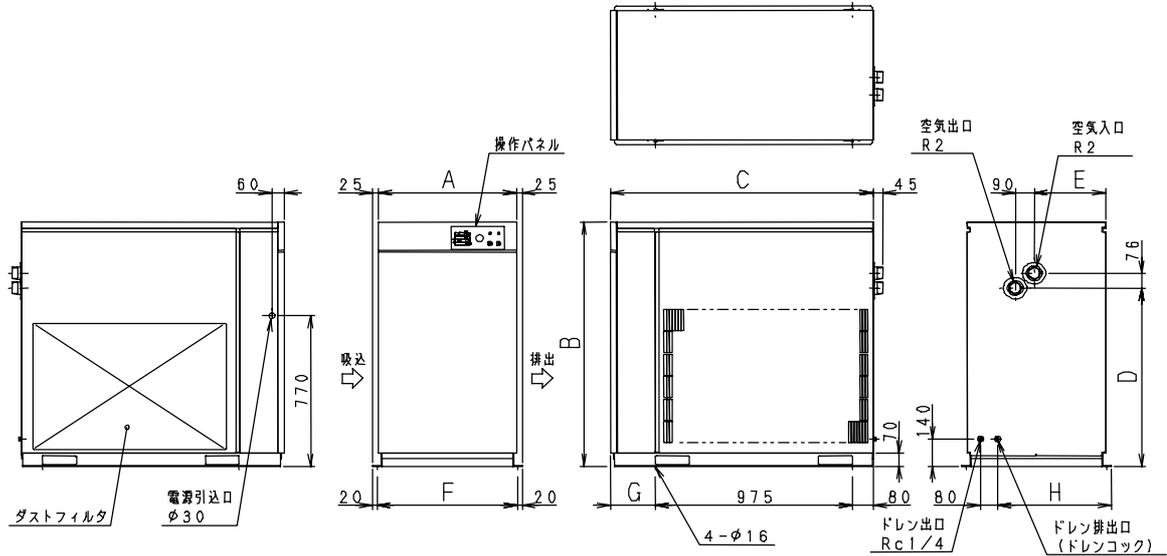
## 10 . 仕様

型式			GX8155	GX8175	
使用範囲	使用流体		圧縮空気		
	入口空気温度		5 ~ 80		
	入口空気圧力	MPa	0.2 ~ 1.0		
	周囲温度		2 ~ 43		
定格	処理流量	m <sup>3</sup> /minANR	50Hz	9.6	10.5
			60Hz	10.6	12.3
	入口空気温度		55		
	入口空気圧力	MPa	0.7		
性能	出口空気圧力露点		10		
	圧力降下(50Hz 時)	MPa	0.0057	0.0066	
電気仕様	電源		三相 AC200/200-220V 50/60Hz		
	入力	KW	2.7/3.4	3.7/4.3	
	運転電流	A	10.3/11.4	13.1/14.6	
	起動電流	A	55/50	99.5/90.1	
冷媒			R-407C		
排熱量	kW		10.8/12.3	12.4/14.5	

注記 最大温度時の使用範囲についてはお問い合わせください。

11. 外形寸法

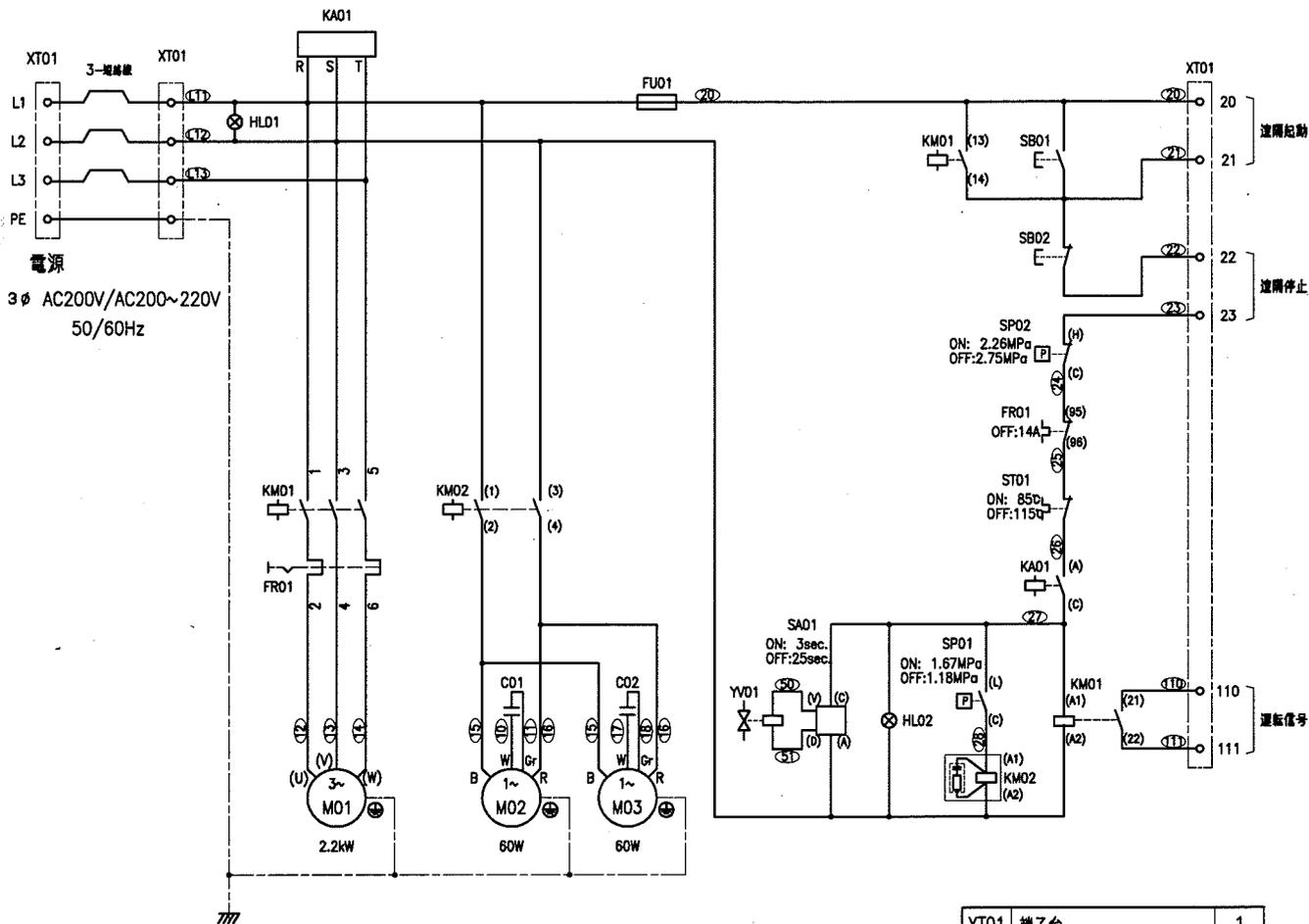
11.1 GX8155, GX8175



機種	記号	A	B	C	D	E	F	G	H
	GX8155	590	1200	1150	887	280	600	95	465
	GX8175	660	1250	1250	912	340	670	195	535

12. 電気回路図

12.1 GX8155

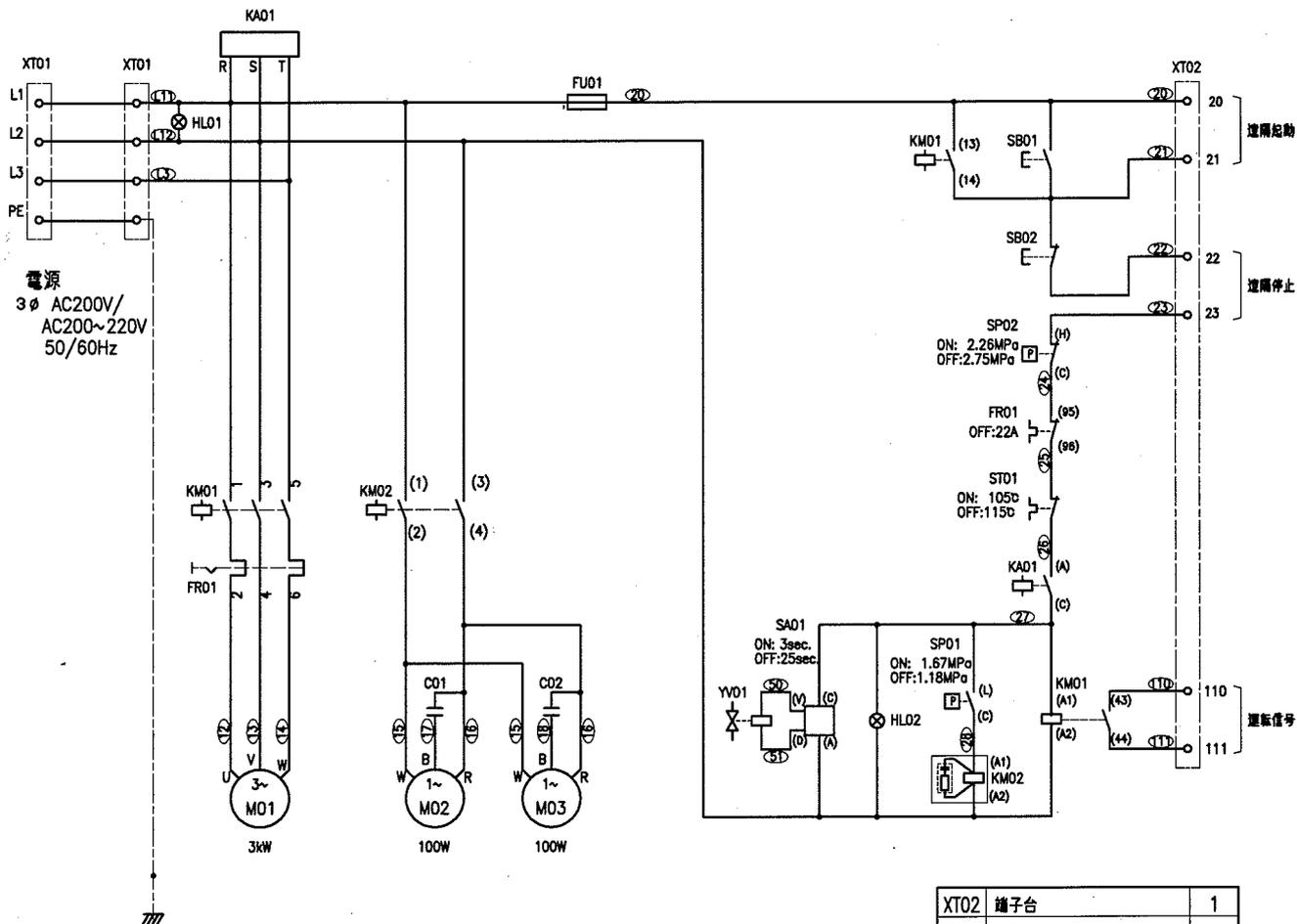


注記

1. 電源電圧は、定格電圧の±10%以内で使用してください。
2. 遠隔起動スイッチ (20-21回) は、モメンタリー-a接点 (0.5秒間以上) を使用してください。
3. 遠隔停止端子 (22-23回) は、出荷時にジャンパー線が接続してあります。  
遠隔停止スイッチ (22-23回) は、モメンタリー-b接点 (0.5秒間以上) を使用してください。
4. 運転信号 (110-111回) は、無電圧信号で運転時間 (110-111周回) となります。接点容量3A (AC220V)
5. 運転信号 (110-111回) の接点には、交流AC200~220Vを使用し、直流の微弱電流は使用しないでください。

XT01	端子台	1
HL02	表示灯	1
HL01	表示灯	1
SB02	押釦スイッチ (停止)	1
SB01	押釦スイッチ (起動)	1
SPO2	高圧圧力スイッチ	1
SPO1	ファンコントロールスイッチ	1
FU01	ヒューズ	1
STO1	サーマルスイッチ	1
KAO1	逆転防止器	1
KMD2	電磁接触器	1
FR01	電磁開閉器	1
KMD1	電磁開閉器	1
YV01	電磁弁	1
SAO1	フレンクタイムユニット	1
C01,02	運転コンデンサ	2
MO2,03	ファンモータ	2
MO1	圧縮機	1
品番	部品名	数量

## 12.2 GX8175



### 注記

1. 電源電圧は、定格電圧の±10%以内で使用してください。
2. 逆隔起動スイッチ(20-21間)は、モメンタリー-a接点(0.5秒間以上)を使用してください。
3. 逆隔停止端子(22-23間)は、出荷時にジャンパー線が接続してあります。  
逆隔停止スイッチ(22-23間)は、モメンタリー-b接点(0.5秒間以上)を使用してください。
4. 運転信号(110-111間)は、無電圧信号で運転時閉(110-111間閉)となります。接点容量3A(AC220V)
5. 運転信号(110-111間)の接点には、交流AC200~220Vを使用し、直流の微弱電流は使用しないでください。

XT02	端子台	1
XT01	端子台	1
HL02	表示灯	1
HL01	表示灯	1
SB02	押入スイッチ(停止)	1
SB01	押入スイッチ(起動)	1
SP02	高圧圧カスイッチ	1
SP01	ファンコントロールスイッチ	1
FU01	ヒューズ	1
ST01	サーモスイッチ	1
KM02	電磁接触器	1
FR01	電磁開閉器	1
KM01	電磁開閉器	1
YV01	電磁弁	1
SA01	ドレンクイマユニット	1
KAO1	逆転防止器	1
C01,02	運転コンデンサ	2
M02,03	ファンモータ	2
M01	圧縮機	1
品番	部品名	数量

# 販売終了

## 保証書

### 1. 保証期間

本製品の保証期間は、お買い上げから1年間といたします。  
冷媒回路はお買い上げから2年間といたします。ただし、2年以内に稼働時間が10,000時間に達した場合は、その期間とします。

### 2. 保証範囲

上記保証期間中に当社側の責により故障を生じた場合、その製品の修理を無償で速やかに行わせていただきます。

ただし、次の項目に該当する場合は、この保証の対象範囲から除外させていただきます。

本仕様書に記載されている条件・環境の範囲を逸脱して使用された場合。

取扱不注意などの誤った使用および誤った管理に起因する場合。

故障の原因が納入品以外の事由による場合

製品本来の使い方以外の使用による場合。

納入後に行われた当社側が係っていない構造、性能、仕様などの改変および当社指定外の修理が原因の場合。

本製品を貴社の機械・機器に組み込んで使用される際、貴社の機械・機器が業界の通念上備えられている機能、構造などを持っていれば回避できた損害の場合。

納入当時に実用化されていた技術では予見できない事由に起因する場合。

火災、地震、水害、落雷、その他の天災、地変、公害、塩害、ガス害、異常電圧、異常水圧、異常水質、凍結、その他の外部要因による場合。

使用条件に左右される消耗部品の場合(ファンコントロールスイッチ、ポンプのメカニカルシールなど)。

なお、ここでいう保証は、納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害は除外させていただきます。

以上の内容は、日本国内での取引および使用を前提としております。

日本国外へ輸出されたものについての無償修理は、以下の通りとさせていただきます。

貴社運賃ご負担にて当社工場へ返却されたものについて修理します。

修理完了品は国内梱包仕様にて貴社国内ご指定場所へ納入します。

## CKD株式会社

〒485 - 8551 愛知県小牧市応時二丁目 250 番地

PHONE 0568 - 77 - 1111

ご購入いただいたエアドライヤ

形番	
製造番号	
ご購入年月日	
ご使用開始年月日	

販売店名

TEL
担当